

講座番号

歴史・郷土史

020

横浜学

開港場横浜で展開した異文化交流とそこで生まれた「ヨコハマの生活文化」(Part One)

講座内容

長いこと鎖国の状態にあった日本では、開港場横浜での異文化交流は、日本の近代化に多大な影響を与えた。本講座では、「横浜事始め」と言った諸事象に目を向けつつ、欧米文化に影響を受けた「ヨコハマの生活文化」についてアプローチ。

期 間	5月12日～6月30日	受講料	12,000円
曜 日	火曜日	定 員	40名 ※最少催行人数13名
時 間	13:30～15:30	会 場	関内アカデミック・リサーチセンター
回 数	全8回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が配布資料を用意します。		
備 考	●この講座は5月1日(金)までに中止の連絡がなければ開催となります。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容	担当講師
1	5月12日(火)	異文化交流や異文化理解は当時の日本の近代化にとってのカンフル剤 その例証を、「万延元年遣米使節」が見た米国や、「文久遣欧使節」が見た英国をステージに	小林 照夫
2	5月19日(火)	最初の本格的異文化交流は医療宣教師ヘボンによる神奈川の地 神奈川在住中のヘボンの診察を受けた患者は皆感謝。診察回数は3,500回以上とも	権田 益美 小林 照夫
3	5月26日(火)	ホテル発祥の地横浜、開国場横浜には幾つものホテルが シーボルトも宿泊した「ヨコハマ・ホテル」にみる当時のホテルの様相と機能	小林 照夫
4	6月 2日(火)	山手は日本のビール誕生の地 日本でのビール醸造史にみる W. ローゼンフェルトとウィリアム・コーブランドの業績	小林 照夫
5	6月 9日(火)	日本のパンの試作者はあの江川太郎左衛門とか 本格的なパンづくりは横浜の居留地で、その歴史に「ヨコハマ・ベーカリー」の名が	小林 照夫
6	6月16日(火)	洋食の普及と西洋野菜の栽培 日本での西洋野菜の最初の栽培は出島のオランダ屋敷、ところで「開港"菜"」とは	小林 照夫
7	6月23日(火)	明治の流行歌の一節に「ザンギリ頭を叩いてみれば文明開化の音がする」と 山下公園内には「西洋理容発祥の地」を記念する「ZANGIRI」と名付けられた石像が	小林 照夫
8	6月30日(火)	横浜馬車道で「あいすくりん」(アイスクリーム)が誕生 冷蔵庫もない時代に、誰がどのようにつくったのかしら？ 不思議ですよ	小林 照夫

講師紹介



小林 照夫(こばやし てるお)

本学名誉教授

博士(社会学)。元日本港湾経済学会会長。本講座に関連した小林の書物としては、『日本の港の歴史』(単著、成山堂書店)、『巨大都市と漁業集落』(単著、成山堂書店)、『港都横浜の文化論』(共編著、関東学院大学出版)等。その他の小林の著書についてはウィキペディア小林照夫の項を参照ください。



権田 益美(ごんだ ますみ)

本学国際文化学部非常勤講師

博士(文学)。日本港湾経済学会会員。本講座に関連した書物としては、『港都横浜の文化論』(共編著、関東学院大学出版)がある。